

地域活動 レポート

令和8年3月
No.60

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■みんなで歌って、踊って 昼下がりコンサート3（2月2日）

特別養護老人ホームともしび一階において、「昼下がりコンサート3」が開催されました。本事業は啓発地域活動協議会、連合振興町会、社会福祉協議会、地域包括支援センターおよびボランティアが協働して実施されました。当日は60名を超える参加があり、男女問わず多くの方にご参加いただきました。当日は、生涯学習ルーム「うたごえ赤とんぼ」で講師を務める一ノ瀬先生を中心に、赤とんぼのメンバーによる歌唱と、参加者全員による合唱を行いました。

女性部が登場し、踊りのレクチャーの後、参加者全員で歌と踊りを楽しみまし

日時：令和8年2月2日（月）
午後2時～3時30分（受付は30分前から）
場所：特別養護老人ホームともしび 一階



た。多くの参加者が最後まで参加され、会場には一体感が生まれました。本事業は、音楽を通じた交流の場・居場所として有意義な取組であり、今後も年3回程程度の開催を予定されています。

◆地域課からのお知らせ

■マンションコミュニティから考える、これからの地域活動―令和7年度東淀川区まちづくりフォーラムを通して―（1月13日）

令和7年度東淀川区まちづくりフォーラムを開催しました

「マンションコミュニティの活動事例と工夫」をテーマに、大阪経済大学経済学部 白田利之准教授を講師に迎え、これからの地域活動について考えました。



フォーラムを通して共通して語られたのは、マンションのつながりを、交流やイベント中心で考えるのではなく、日常生活や災害時に役立つ「暮らしを支える仕組み」として整えていくことの大切さです。地域課から報告した、6月から7月に実施した、『中学生以上対象』東淀川区における

地域活動に関するインターネットアンケート

の結果からは、防災や防犯については多くの方が関心を持っている一方で、地域活動への参加には「負担が大きそう」「時間が取れない」と感じている方が多いことが分かりました。特に、「積極的に参加したいというよりも、必要などときに、できる範囲で協力したい」と考える方が多いことが特徴でした。

また、新豊里団地や



ローレルハイツ北天満の事例講演では、マンションに住む人の高齢化などにより、これまでの自治会のやり方が合わなくなってきたという現状が紹介されました。その中で、防災や見守り、日常の声かけなどを少しずつ積み重ねることで、長く続くコミュニティが育まれてきたことが伝えられました。

フォーラムを通して、地域活動は「全員が参加しなければならぬ」という考え方はなく、関われる人が関われるときに役割を担うことの大切さが共有されました。防災や防犯をきっかけに、日常が安心して過ごせる仕組みを整えることが、地域活動をより身近で続けやすいものにしていきます。